



そもそも、人形浄瑠璃「文楽」とは…？

物語を語る「**太夫**」

情景を音で表現する「**三味線**」

高い技術で命があるように動く「**人形**」

これらが一体となった情感豊かな美しい人形劇！
日本が世界に誇る伝統芸能です。

人形浄瑠璃 文楽

～解説・字幕付き～

「一子を切らば
一子を切るべし」



平家物語で、武将・平敦盛が討取られたエピソードを題材にした時代物浄瑠璃の代表作。
「若木の桜を守れ」と命じられた熊谷直実。我が子を身代りにしてまで敦盛を守った熊谷と、その事実を突きつけられた妻の、凄まじい感情の変化を表現する太夫・三味線・人形は圧巻！戦乱の世を生きる人々の葛藤に胸が締め付けられます。

昼の部
「一谷嫩軍記」

いちのたにふたばぐんき

夜の部
「曾根崎心中」

そねざきしんじゅう



昭和に入って復活した人気演目。二人の男女が最期の地 曾根崎・天神の森にて、幽玄な音楽に包まれ終わりを迎えるまでの悲しくも美しい愛の物語。
洗練された言葉・魅力的な節付けの三味線の音・人形ゆえに表現可能な極限に達した人間の心情表現に目が離せません。

「一足づつに 消え行く
夢の夢こそ あはれなれ」

©青木信二

3月13日(日) 所沢市民文化センターミュージア マーキーホール 昼の部 13:00 開演 夜の部 17:00 開演 チケットカウンター TEL:04-2998-7777

一般：全席指定 ¥4,000 昼夜セット：¥7,000 メンバーズ特割：全席指定 ¥3,500 昼夜セット：¥6,000 詳細はちらしまたはホームページをご覧ください。